

日本おもちゃ病院協会

『障がい児の遊び支援活動』 開始のご案内

一般社団法人 日本おもちゃ病院協会 会長 佐藤 徳一

1. 日本おもちゃ病院協会とは？

日本おもちゃ病院協会は、ボランティアで活動する全国のおもちゃドクター（会員1000人以上の登録）と、おもちゃ病院（全国700カ所以上で活動している）で構成される団体です。

おもちゃ修理活動の普及と、おもちゃ修理技術向上のため、技術情報交換や修理用部品・工具の供給、おもちゃドクター養成講座開催、おもちゃ病院活動の推進発展支援など様々な活動を行っています。

詳しくは、下記のQRコードから、日本おもちゃ病院協会ホームページをご覧ください。

2. 活動開始の背景

日本おもちゃ病院協会



日本おもちゃ病院協会は、障がいのある子どもさんたちに、自分でおもちゃを動かして遊ぶ楽しさと喜びを知ってほしいという思いから、おもちゃに「ジャック（外部スイッチ用端子）の取り付け」を行う活動を開始いたしました。この活動は、国分寺おもちゃ病院の角文喜さんが長年続けられてきたもので、今年（2024年）6月の定時総会に提案、承認されました。

日本おもちゃ病院協会では、協会のホームページを活用して『障がい児の遊び支援

活動』に参画するおもちゃ病院が、全国に展開できるよう、広報活動を行っています。同時に、おもちゃにジャックを取り付けるために使用する部品を、無償で提供するキャンペーンを実施し、おもちゃ病院及び個人ドクターの参画促進を図っています。

この活動は、2024年度に活動開始をしたばかりですので、全国展開が出来ておらず、現状ご利用いただく皆さまには、お近くのおもちゃ病院が参画登録されていない場合、ご不便をおかけすることがあるかもしれません。参画のおもちゃ病院をできる限り早期に増やし、近隣のおもちゃ病院をご利用いただけるようにしたいと思います。

当初ご不便をおかけすることがありますが、皆さんからご意見をいただきながら、工夫し改善していきたいと思えます。より多くの方々にご利用いただけますと嬉しく思います。

一方、国分寺おもちゃ病院への、障がい

のあるお子さんたちのためのジャックの取り付けなどの依頼は、全国から数多く来ていました。(部品代よりも、送料が大きな負担と考えています)

日本おもちゃ病院協会では、国分寺おもちゃ病院と、遠方から郵送される障がい児の保護者の方々、双方の負担が大きいことから、この活動に参加し全国展開を開始することといたしました。

3. 活動目標

(1) 重い障がいのある子どもさんたちに、自分で遊ぶ楽しさと喜びを感じる機会を提供すること。

(2) 支援活動の全国展開を行い、全国の障がい児の保護者の方々が依頼しやすい環境を提供し、費用負担を軽減すること。

(※「全国重症心身障害児(者)を守る会(親の会)」、「全国肢体不自由児者父母の会連合会」の2団体に、連絡をさせていただきながら、今後も情報の共有化を行い協業推進してまいります。

4. 協会としての活動

(1) 全国のおもちゃ病院及びおもちゃドクターのご理解を促進して、支援活動への参画を推進します。

(2) 全国規模で『障がい児の遊び支援』の「おもちゃ病院リスト」を拡充して適宜公開します。

(3) 障がい児を支援する組織・団体・支援学校と連携し、外部スイッチの製作要望に対して情報提供ができる環境を推進する。

(4) 参画の「おもちゃ病院リスト」を利用して、障がい児の保護者の方々と地域単位で有効な情報交換ができる環境を作る。

5. 実際の活動

市販のおもちゃスイッチを、自分で操作することが難しい障がいの重い子どもたちがいいます。

そこで、おもちゃを開け、スイッチ端子を線材等で延長し、ジャックをおもちゃに取り付けることで、遊べるおもちゃを増やすという活動が始まりました。

その子の障がいに応じて作成した外部スイッチユニットのプラグ(φ3.5mm)をおもちゃのジャックに差し込むことで自分の操作で動かすことが出来る仕組みです。(外部スイッチは依頼者が保有している事が前提)

STEP1

障がい児の保護者の方々や障がい児支援団体から依頼されたおもちゃに、ジャックを取り付ける。

まずは、依頼されたおもちゃにスイッチ端子を線材等で延長し、ジャックを取り付けます。

- ・ 取付け作業は無料です。
- ・ 部品代(1個100円程度)は、各地のおもちゃ病院の運営方針に委任していただきます。ご確認をお願いいたします。
- ・ 依頼当日の受け取りが出来ない等の場合、郵送費などの実費は依頼者負担でお願いいたします。



コンビニのドラム



回転おもちゃ「忍」



イワヤのぬいぐるみ

★ジャックの取付例：赤丸で囲ったところが「ジャック」です。

STEP2

障がい児が自分で持っているスイッチにつないで、おもちゃで遊ぶ。

※このスイッチユニットを製作する必要がある場合もあります。

※主なスイッチの種類

スイッチのプラグは、 $\phi 3.5\text{mm}$ で製作しています。

◆棒スイッチ◆

自分の意志で動かせる体の部位、例えば、腕を大きく動かす動作のできる子

◆ビックリスイッチ◆

手のひらで押すという動きのできる子

◆タッチスイッチ◆

指先をちょっとだけ動かせる子

※具体的な支援内容は、

①おもちゃに「ジャック」の取付け。

②子どもに合ったスイッチユニットを製作



タッチスイッチ



ビックリスイッチ



棒スイッチ

する。

おもちゃ病院全体としては、活動を始めたばかりですので、スイッチ製作依頼の受付は行っておりません。しかし、おもちゃに外部端子取り付け作業を行っていく中で、スイッチの製作のご要望は自然発生として出てくると考えています。

そのご要望にお応えする手段として、次の通り進めて行きたいと考えています。

(1) スイッチ製作の要望があった場合、先ず行して『障がい児の遊び支援活動』を長年取り組んできた熟練したおもちゃ病院やおもちゃドクターに、製作を依頼するようにご案内する。

(2) 『障がい児の支援活動』を行っている様々な支援団体、または支援学校と連携し、スイッチの製作依頼を受けていただき、連携体制を構築する。

(3) スイッチ製作のノウハウを協会ホームページに掲載、スイッチ製作が推進でき

る環境を提供する。

(4) この活動が安定してきたら、スイッチのスタンダードタイプを選定し、そのスイッチに使用する部材の供給ができるように検討・実施を進める。

注：スイッチ製作依頼を受けて作業すること、及びスイッチ修理を受けることについては現在も各おもちゃ病院の判断・考え方を尊重しておりますので、製作依頼については各おもちゃ病院にご相談願います。

6. 障がい児の遊び支援「おもちゃ病院リスト」

現在の障がい児遊びの支援活動に参画する病院・個人ドクターのリストは、冒頭にご紹介したQRコードからご確認をお願いいたします。

日本おもちゃ病院協会ホームページの「病院としての参画」、「個人としての参画」情報を参照願います。

・各病院への依頼等のご連絡は直接お願いします。

・個人ドクターについては、個人情報とすることから、個人名・連絡先の公開を控えております。

左記の「お問い合わせ」から、日本おもちゃ病院協会にお問い合わせください。

7. 日本おもちゃ病院協会「障がい児の遊び支援部会」へのお問い合わせ

障がい児の遊び支援活動に関する協会への質問や、参画しているおもちゃ病院や近隣の個人ドクターの連絡先の問い合わせなどにご利用ください。

障がい児の遊び支援活動

「お問い合わせ」QRコード。

